

道の駅を核とした地域振興 ～道の駅の役割と住民との ネットワーク構築～



熊本県 阿蘇市
ASO 田園空間博物館・阿蘇市



3 活動の成果や波及効果等

活動は20年目に突入し、登録する「サテライト」(地域資源)の数は当初の70ヶ所から90ヶ所に増え、地域資源を紹介するイベントは、2019年7月で202回開催、参加者は延べ人数4,985名、活動従事者(地域住民)の数は70名となっています。地域資源では、激減したホテルの復活、地震や水害で被災した河川や神社仏閣の復旧作業等、45件の維持管理を行ってきました。また農業と観光を結び付けた取組みにより、農業従事者が観光の受け皿となる体制を作り上げることができました。最近では外国人のイベント参加が増え、予想以上に地域資源や歴史、文化に興味を持っていることがわかりました。



地域資源の整備活動
試食会(地元農家の販路拡大)
趣味層(サイクリスト)対象の地域周遊イベント
外国人対象の地域散策イベント

所在地
熊本県阿蘇市黒川 1440-1

活動主体及び連絡先
特定非営利活動法人 ASO 田園空間博物館
(0967-35-5077)

対象となる社会資本
道の駅阿蘇
※管理者:阿蘇市経済部まちづくり課

喜びの声



受賞者
特定非営利活動法人 ASO 田園空間博物館

コメント
活動開始時より地域の方々とのネットワークをコツコツと築き上げ、活動の幅を少しずつ広げてきた結果、栄えある賞を頂くことができました。今後は外国人旅行者の受入れにも力を入れながら、地域と域外との交流を促進する活動を発展させてまいります。

活動の内容
・交流人口の拡大を目的としたイベントの実施
・道の駅阿蘇での特産品販売および多言語での観光案内
・地元生産者や高校生との商品開発

活動の経緯
平成11年 ASO 田園空間博物館事業開始
平成17年 JR阿蘇駅前にコア施設落成
平成20年 コア施設が道の駅阿蘇となる
以後、住民とのネットワークを広げ、地域振興に関する様々な取組みを行っている。

1 社会資本の概要

道の駅「阿蘇」は農産品・生鮮品を扱う地域の拠点施設であることから、日常的な住民の利用があり、また、観光案内所や道路情報表示は多くの観光客に利用されています。道の駅をこの地域の情報発信・観光基地とするため、サイネージを使った地域情報の発信や地元農家によるPR販売などを行い、イン

バウンドへの対応としては、英語・中国語・フランス語の対応も可能にしています。
そして、基本的な設備である24時間利用可能な駐車場・トイレの他、電気自動車・バイクの充電設備、無料給水所を備えるとともに、非常食、災害対策備品の備えにより災害時にも活用されます。



道の駅阿蘇



農家によるPR販売の実施

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

阿蘇市全体を屋根のない博物館に見立て、市内に点在する90の自然や建造物などの地域資源を「サテライト」とよび事業展開することを活動のコンセプトに、地域資源の保全・継承を行う取組みをスタートさせました。発足当初より、一年を通して地域資源を管理する管理団体(概ね行政区単位)である地域住民と法人が連携して資源の整備作業や継承につ

なげるためのイベント等実施しています。これらの活動は地域住民が主導し、法人がサポートする体制を築くことで地域コミュニティ維持にも繋がっています。また、エリアごとに「地区部会」とその役員を作り、小単位で定期的に会議を開催することで円滑に情報交換や協力ができる体制を作っています。



地域住民による地域資源(サテライト)候補地調査
地域資源周辺の清掃作業、植栽活動
エリアごとの「サテライト地区部会」



手づくり郷土賞
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編